



発行：ステップハウス宝塚 広報委員会

スマイルは、ステップハウス宝塚の新聞です。これを読んで、「スマイル」になっていただけたらうれしいなという気持ちで名づけました。

## ●東日本大震災ボランティア

施設管理課 大串郁夫

宝塚市社会福祉協議会さんが東日本大震災の被災地へ、共同支援ネットワーク（\*下欄参照を通じて、職員派遣を3月26日から続けています。この度、ステップハウスからもこのネットワークを通じて、職員派遣を行うこととなりました。

6月13日（月）よりステップハウス宝塚 施設管理課職員の私は8泊9日で、宮城県石巻市のCLCボランティア事務局へ行って参りました。



私の役割は主には避難所で活動されるボランティアさんの後方支援でありボランティアさんと事務局のパイプ役を務めました。他に事務局でのボランティアさんが寝泊まりする環境整備のお手伝い等もさせていただきました。

まず、ボランティアさんの後方支援のお話からします。役割分担として4ヶ所の避難所を巡りボランティアさんの悩みごとや出来事等を聞いて解決に導くことや活動に必要な物品を届けることです。場所によってはまだ水が出ない所もあり、規模は数百人の所もあれば数十人の所もあり様々でした。現在では地震発生から7ヶ月が過ぎましたが被災地の状況はまだまだです。言葉にならないくらい被害の大きさを覆うばかりの光景が広がっています。



※共同支援ネットワークとは、被災地支援のために、全国組織や被災地に立地する社会福祉法人などで結成され、震災後すぐの3月13日に立ち上がった組織です。（運営主体は、NPO法人全国コミュニティライフ サポートセンター【省略：CLC】が担っています。）

「宝塚市社会福祉協議会平成23年度第1回評議委員会資料より抜粋」

続いて事務局での生活のお話をします。毎日数十人の男女が同じ釜の飯を食べ活動をしているわけですが特に印象の強いひとつにお風呂を紹介させていただきます。毎日活動終了後事務局に帰宅すれば薪で沸かしたお風呂が待っています。この設備もあるボランティアさんの手作りだそうですが大変よく出来ており一般家庭の入浴環境とそう変りない物でした。毎日薪割りから始めて釜にお湯を沸かしポンプで浴槽に給湯するシステムなのです。薪割りは近くの被災者の方が毎日来所され指導も受けながらこの場はボランティアの憩いの場所でもありそして皆で協力しながら過ごしお互いの「絆」を深めていく素晴らしい環境でした。



ボランティアさん手作りの湯沸し設備！！

被災地ではまだまだ長期に渡るたくさんの支援が必要です。自分に出来ることを模索しながら東北復興の応援をしたいと考えています。

## ●ステップハウス夏祭り

去る7月31日(日)1Fフロアにて夏祭りが開催されました！たくさんの利用者様家族様にご来場いただき、太鼓・わんこそば大会・たこやき屋台など大いに盛りあがりました！



一生分おそば食べた・・・



ボランティア「きらり」さんの和太鼓演奏会！

宝塚市保健福祉サービス公社のホームページにもイベントの様子を載せています。

ぜひご覧下さい。<http://www.takarazuka-fukushi.or.jp>

次号はデイケア太陽クラブ・慶祝会の記事を予定しております。

\*スマイル新聞はいかがでしたでしょうか？・・・はじめての新聞発行でスタッフもわからないことだらけ・・・どんな事でもいいので、ご意見・ご要望おまちしております\*

